

## 第63回 セメント技術大会 優秀講演者に

M2 齋藤 裕樹 君

平成21年5月20～22日に東京池袋のホテルメトロポリタンで行われた第63回セメント技術大会において、社会環境デザイン工学科コンクリート研究室修士課程2年生の齋藤裕樹君が、優秀講演者に選ばれた。本賞は、セメント技術大会全体の活性化ならびに若手研究者・技術者への研究奨励を目的として35歳以下の講演者から選ばれるもので、今大会では、98名の対象者から14名の優秀講演者が選ばれ、7月27日に表彰状と記念品が授与された。セメント技術大会は、セメント・コンクリート分野の研究者や技術者が一同に会して発表および討議を行う場として定評のある大会である。

受賞対象となった齋藤君の研究論文のタイトルは、「インプット法による透水試験における排出側境界条件の影響」で、半井健一郎准教授、李春鶴助教との連名によるものである。本研究は、コンクリートの高い水密性能の評価を目的とし、外部からの水の浸潤に対しコンクリート内部の空気の排出が可能な開放系と内部の空気の排出が不可能な閉鎖系の二つの異なる境界条件について、水浸透挙動の分析を行ったものである。高品質なコンクリートの性能を評価するための重要な視点に基づく研究の意義とともに、分りやすい研究発表や的確な質疑応答などが高く評価された。齋藤君にとっては、昨年の土木学会全国大会に続く受賞となった。

